

明治3年 技術学校「覺舎」の設立

●明治3年横須賀製鉄所は新設の技術学校を覺舎設立。

(覺舎とは覺(まなびや)すなわち学校の意味)

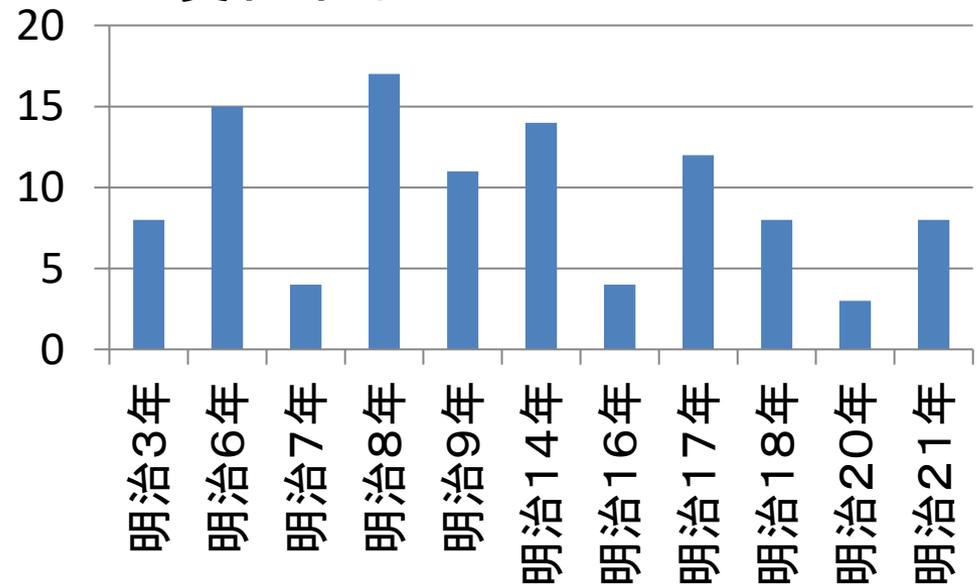
当初は製鉄所雇のフランス人の余暇をもってフランス語、算術、図学を学習したにすぎなかった。

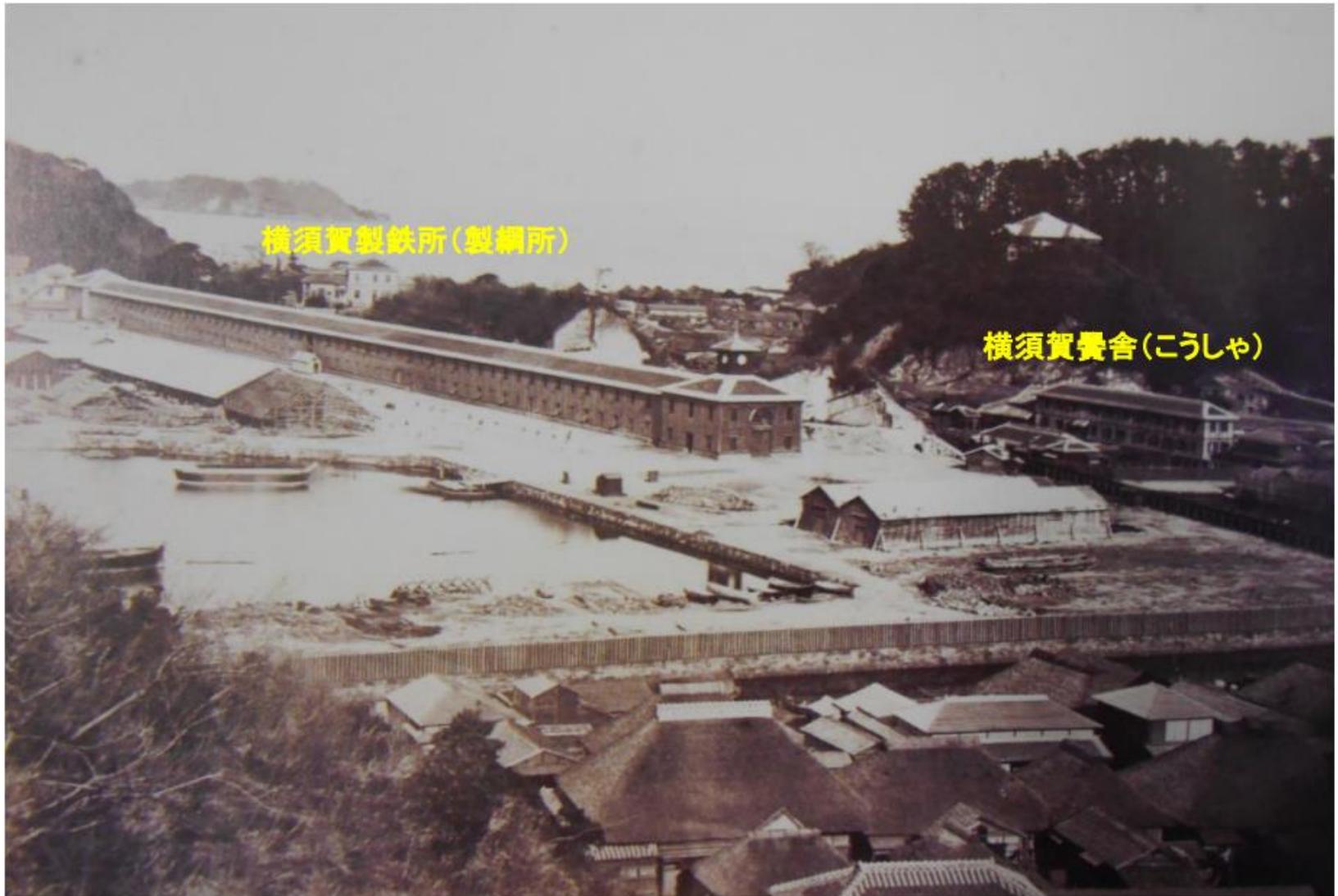
●明治9年の教科内容「幾何学・微分積分、製図、造船、蒸気機械、砲術等」17科目、履修期間は3年であった。

●明治15年以降造船官は東大の前身である工部大学校に吸収

●明治21年その役目を海軍造船工学校に引き継ぐ。

覺舎卒業生(合計104名)





横須賀市自然・人文博物館編「横須賀製鉄所(造船所)創設150周年記念展「すべては製鉄所から始まった」より

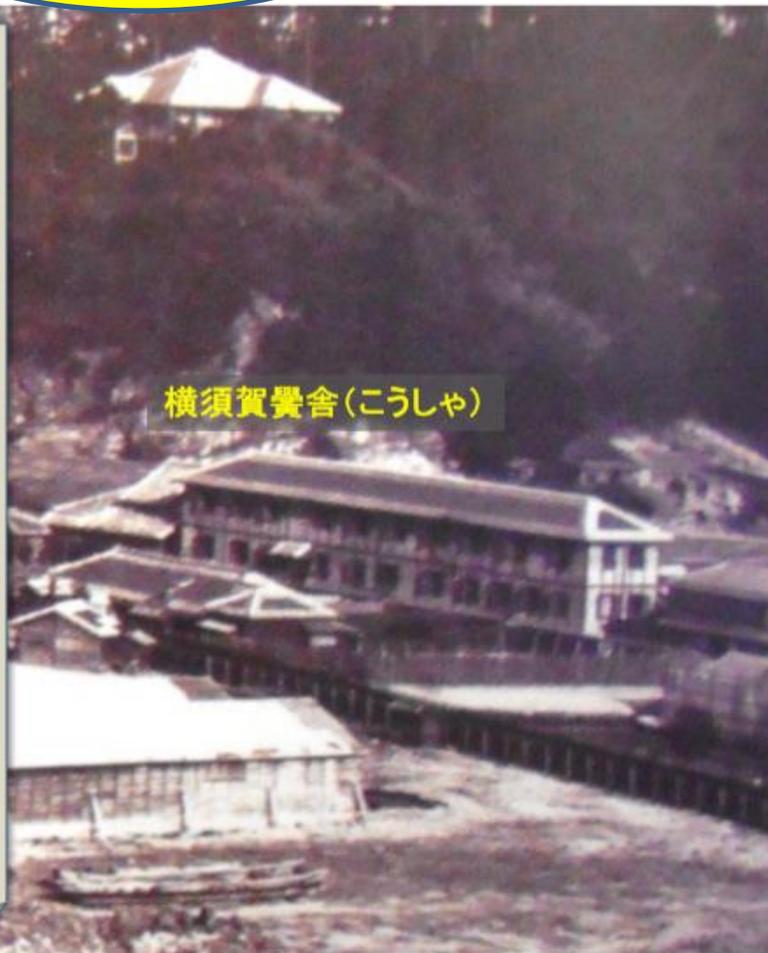
覺舎におけるカリキュラムです。
まさに今の理系大学教育そのものでした。

予科

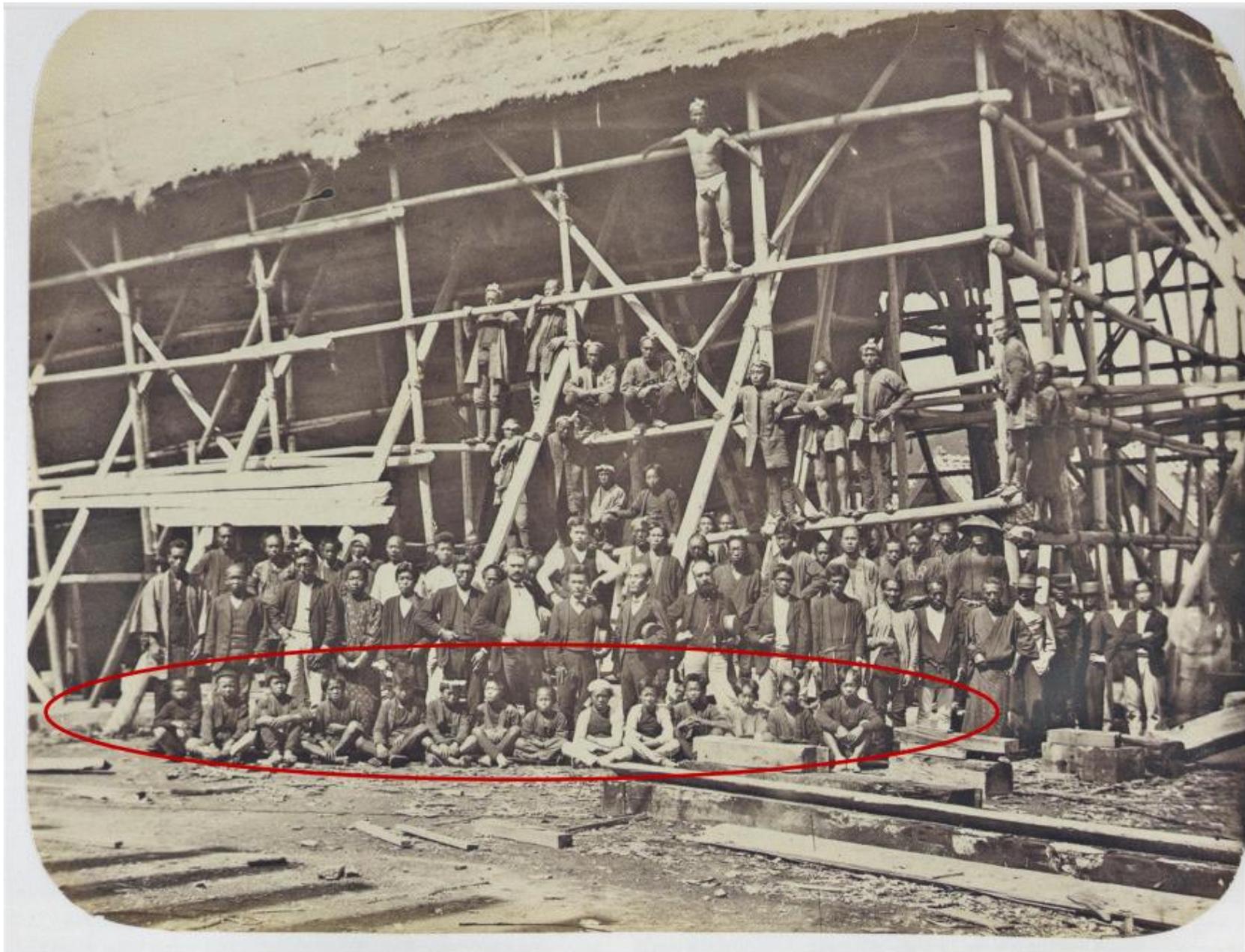
- ・語学(仏語、和漢学、翻訳学)
- ・数学(代数、幾何、算学、三角術)
- ・地理学(万国、日本)
- ・物理学
- ・化学
- ・図学
- ・造船学
- ・機械学

本科

- ・数学(幾何、微積分)
- ・製図
- ・物理学(推理重学)
- ・材料学(物質組成学、物品抗耐学)
- ・土木工学(築造学)
- ・造船学(造船学、造船実訣、造船実考課)
- ・機械工学(蒸気機械学、蒸気機械考課)
- ・艦砲学
- ・博物学
- ・工場執業



横須賀覺舎(こうしゃ)



【10代前半から見習で働き始めて、覺舎受験資格を得た】

建造中の船の前に並ぶフランス人、および日本人従業員 (GB) 1873年頃

「覺舎」はその後東京帝国大学工学部へと発展していきます。



東京大学工学部正門

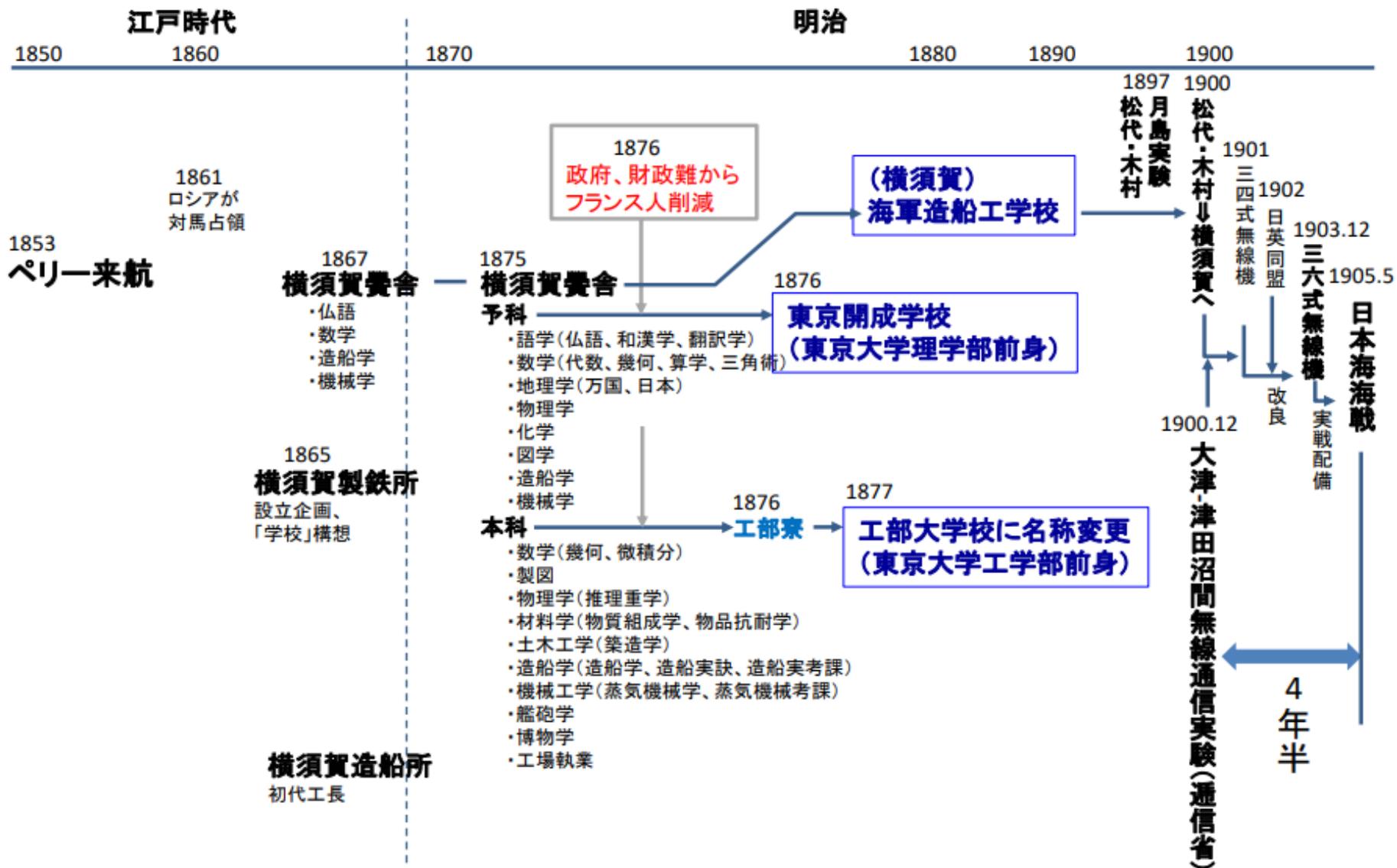
1886年～
(明治19年)

東京帝国大学(明治33年)

<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/7628>



明治の横須賀造船所の覺舎は、大学レベルの高等技術教育機関でした。
 明治23年鎮守府における技術教育は、「海軍造船工学校」が設置され、ここに引き継がれました。



引用史料：堀内達夫「日本近代技術教育と学校モデルの移転」、職業と技術の教育学 第17号(2006年) ほか